

## 森林の未来をひらく先進事例

# 森林資源を活かした地方創生

と き 平成 27 年 1 1 月 2 4 日 (火)

15:30~17:00

ところ 上小阿仁村生涯学習センター多目的ホール

### 【講演テーマ】

「環境未来都市」北海道下川町の挑戦

～森林総合産業の取り組み、ゼロエミッション～

講師 NPO法人しもかわ森林未来研究所 研究員 春日 隆司 氏

### 略歴

- 下川町勤務
- 下川町開発審議室
- 北海道開発局農業水産部（出向）
- アメリカモンタナ州立大学（留学）
- 下川町企画振興課長補佐
- 財団法人下川町ふるさと開発振興公社（出向）
- 下川町地域振興課長
- 下川町環境未来都市推進本部長
- NPO 法人 しもかわ森林未来研究所研究員
- 下川町議会議員

※内閣府の「地域活性化伝道師」にも登録されております。

### 北海道下川町の取り組み

北海道下川町は、旭川市から北に約 100 キロのところに位置し、人口約 3500 人。町面積の 9 割を覆う森林資源を活用したまちづくりを進めている。

同町は「人が輝く森林未来都市しもかわ」として、森林バイオマスを活用したエネルギー供給、集住型住環境の整備、地域おこし協力隊と連携した「地域食堂」の運営や見守り・除雪活動など、様々な地域振興の取組を行っており、国の「環境未来都市」の選定や「地域活性化総合特区」の指定を受けている。

### 【「一の橋バイオビレッジ構想」の基本方針】

- ①地域を担う人財を確保すること
- ②地域資源を最大限に活用し、小規模ビジネスを数多くおこすこと
- ③バイオマス等を活用した集住型の住環境を整備し、環境負荷を低減した地域を形成すること
- ④住民の生活支援システムを構築すること
- ⑤地域課題の解決に向け、高度な知識、技術を導入すること